

## 加盟組合向け 各種学習会を実施

労組活動基礎研修など、多くの加盟組合が参加

サービス連合は、組織強化やサービス連合の強化月間取り組み支援を目的として、各種学習会を開催しました。10月18日（月）にはメニュー適正表示に関する勉強会を、10月27日（水）と11月8日（月）には賃金学習会を、そして11月10日（水）～12日（金）の3日間にかけて労働組合活動の基礎研修をそれぞれ開催しました。各学習会ともに多くの加盟組合の役員や所属組合員の方にご参加いただきました。下記の通り開催の様子をご報告いたします。サービス連合では今後も必要に応じて不定期にこのような学習会を行ってまいりますので、加盟組合の皆様の積極的なご参加をお願い致します。

### メニュー表示適正化に向けた勉強会

サービス連合では2013年に発生した食品表示問題を風化させない取り組みとして、「ホテルの日」のある11月を「メニュー表示適正強化月間」として定め、加盟組合ならびに産業内の意識醸成と職場内でのチェックを一斉に行うこととしています。この取り組みの一環として、法制度を周知し理解不足を解消するとともに、メニュー表示適正化に向けた取り組みの重要性を改めて認識する機会として、消費者庁表示対策課の萩野舞氏を招き「メニュー表示問題と景品表示法」と題し、勉強会を10月18日（月）に開催しました。対象者は主に宿泊業の加盟組合の役員で、11組合、19名の方にご参加いただきました。

学習会では、景品表示法の基本的な考え方のほか、メニュー表示ガイドラインや違反事例の紹介も行われました。また勉強会の後半では加盟組合間の事例共有の時間を設け、各加盟組合で実際に行われている取り組み事例を共有するとともに、



加盟組合間の事例共有の様子

共有された内容に対する活発な質疑応答が行われました。

開催後に実施したアンケートでは、「法律の趣旨など根本的なところを学ぶことができ、理解が深まった」という声など、有益な講義であったという声が多く寄せられた

ほか、「時を経るにつれてやはり従業員の意識は当時と比べて低くなってくと想定されることから、労使一体となって恒常的な啓蒙活動に取り組む必要がある」といった、問題を風化させないための取り組みの必要性に関する意見もいただきました。一方で、勉強会の時間が短く、消化しきれなかったという声や、景品表示法は旅行業にも関係するものであり、旅行業の加盟組合も対象とすべきという声もありました。いただいた参加者からの声を今後の学習会運営に活かしていきます。



メニュー表示強化月間のポスター

## 賃金学習会

サービス連合では、中期的な賃金目標「35歳年収 550 万円」の実現にむけ、賃金実態調査の実施や指標を活用した、加盟組合での主体的な取り組みを要請しています。この取り組みの一環として、加盟組合での賃金への理解を深めるとともに、データ分析を春季生活闘争の要求策定や交渉に活かせるようにするため、労働調査協議会より講師を招き、10月27日（水）と11月8日（月）の2日間、ウェブと会場での参加を併用して賃金学習会を開催しました。

学習会の冒頭では、吉田労働条件局長から賃金分析の意義について説明を行い、その後労働調査



賃金学習会での説明の様子

協議会の加藤氏・長谷川氏から、賃金データ分析の集計方法や、分析結果の活かし方などを、実際の演習を交えて説明し、より実践的な学習会を行いました。



会場参加者の受講の様子

2日間の学習会で合計 16 組合、24 名が参加し、参加者からは実施後のアンケートにて「**実践形式だったのでわかりやすかった**」という声や、「**いままでもこのような分析を行っておらず、分析によって自組織の状況を把握したうえで春闘に臨みたい**」など、春季生活闘争の要求策定に向けてデータ分析を活用する、といった意見が寄せられました。

今後も春季生活闘争の時季に合わせて開催を行っていく予定ですので、その際は加盟組合からのご参加をお待ちしています。

## 労働組合活動の基礎研修

サービス連合では、加盟組合の役員を対象に、労働組合活動の基礎知識の習得や労働組合活動についての理解促進を目的とした「労働組合活動の基礎研修」を開催しました。11月10日（水）～12日（金）の3日間にわたり、計6回ウェブ形式にて開催し、総勢 262 人の方が参加しました。

研修の内容は、サービス連合の「労働組合執行部入門」の基礎知識編と組合活動実践編の一部をベースにしたもので、労働組合や組合活動、組合役員の意義などを、法律や役割など様々な角度での説明を行いました。講師は岡本雇用対策局長が



講師（岡本雇用対策局長）による講義の様子

務め、参加者から時には笑いも出るなど、120分という時間を最後まで集中して受講いただきました。



参加者の受講の様子（ウェブ方式での開催）

参加者の組合役員歴は3年未満の方を中心に多岐にわたり、参加者からは組合の基礎的な知識が学べたという声だけでなく、「**組合活動は先人からの贈与を守り、次世代へ引き継ぐという『すきま』を埋める活動、という言葉が響いた**」という声、また組合役員歴が長い方からは「**新任の役員はもちろんのこと、ベテランの役員も受講すべき内容であり、今後も継続してほしい**」という声もあり、様々な役員歴の方がそれぞれの受け止め方で研修の意義を感じていただいたと思います。

研修の動画は、準備ができ次第公開を予定しております。受講できなかった方は是非ご活用ください。また、受講者の半数以上の方が「実践編」の開催を希望しており、今後開催を検討してまいります。